



# 2020年1月期 第1四半期 決算説明資料

**ベステラ株式会社**  
東証第一部(証券コード:1433)

# 決算のポイント(連結)

## 売上高

**1,114**百万円

- 売上高は対前年61百万円(5.9%)増
- 第1四半期会計期間で2期連続増収

## 営業利益

**130**百万円

- 営業利益は、効率的に工事が進み売上総利益が70百万円(35.8%)増加したことにより、対前年58百万円(79.7%)増
- 売上総利益率は、24.0%(前年同期18.7%)

## 受注残高

**1,006**百万円

- 受注残高は、堅調な受注工事高(対前年561百万円、115.6%増)の増加に支えられ、期首と同等の残高を維持

## 業績予想

- 堅調な受注見込案件の状況を踏まえ、売上高15.7%増、営業利益5.5%増、配当16円(前年比+1円)の増配予想

# トピックス① 採用力の強化

第1四半期会計期間において、以下の施策を実施しました。給与を直接的に向上させるとともに、社員が安心して働ける環境を整えることで、採用力の強化を図っております。

## 従業員給与 増額

経済の好循環実現へ寄与し、社員の満足度向上を図り、優秀な人材を確保するため、大幅なベースアップを実施しました。

また、元請工事の増加に欠かせない有資格者を確保するため、資格手当を導入しました。

- ・定期昇給、人事考課による評価に加えて、大幅な**ベースアップ**を実施
- ・工事の**監理技術者**に対し、月額資格手当を支給
- ・従業員の平均年間給与が**503万円から569万円に増加**

## 所得補償保険

人事構造改革の一環として、社員が安心して長く働ける環境を整えるため、団体長期障害所得補償保険「GLTD」を導入しました。

「GLTD」とは、社員が病気やケガ、精神疾患で中長期に仕事が出来ない場合に、在籍中・退職後を問わず最長定年まで、収入を一定割合補助する制度です。

- ・**月額報酬の50%**が補償される(日本最高水準の補償割合)
- ・在籍中・退職後を問わず、最長**定年時(60歳)**まで補償される
- ・**保険料は全額会社負担**

## トピックス② 営業拠点の拡充

京浜地区の潜在需要に対する営業力強化を目的として、京浜事務所を開設しました。営業拠点を拡充することで、受注拡大を図ってまいります。



京浜事務所

- ・京浜工業地帯に近い神奈川県川崎市に立地
- ・2019年1月期においても180百万円の売上を計上



西日本事務所

- ・事業本部副本部長を西日本地区統括に任命
- ・事務所の規模を拡大予定



- ・新事務所開設検討中

仙台



東京本社



千葉事務所

J F E 千葉構内  
作業所

# 損益計算書: 第1四半期(2020年1月期)

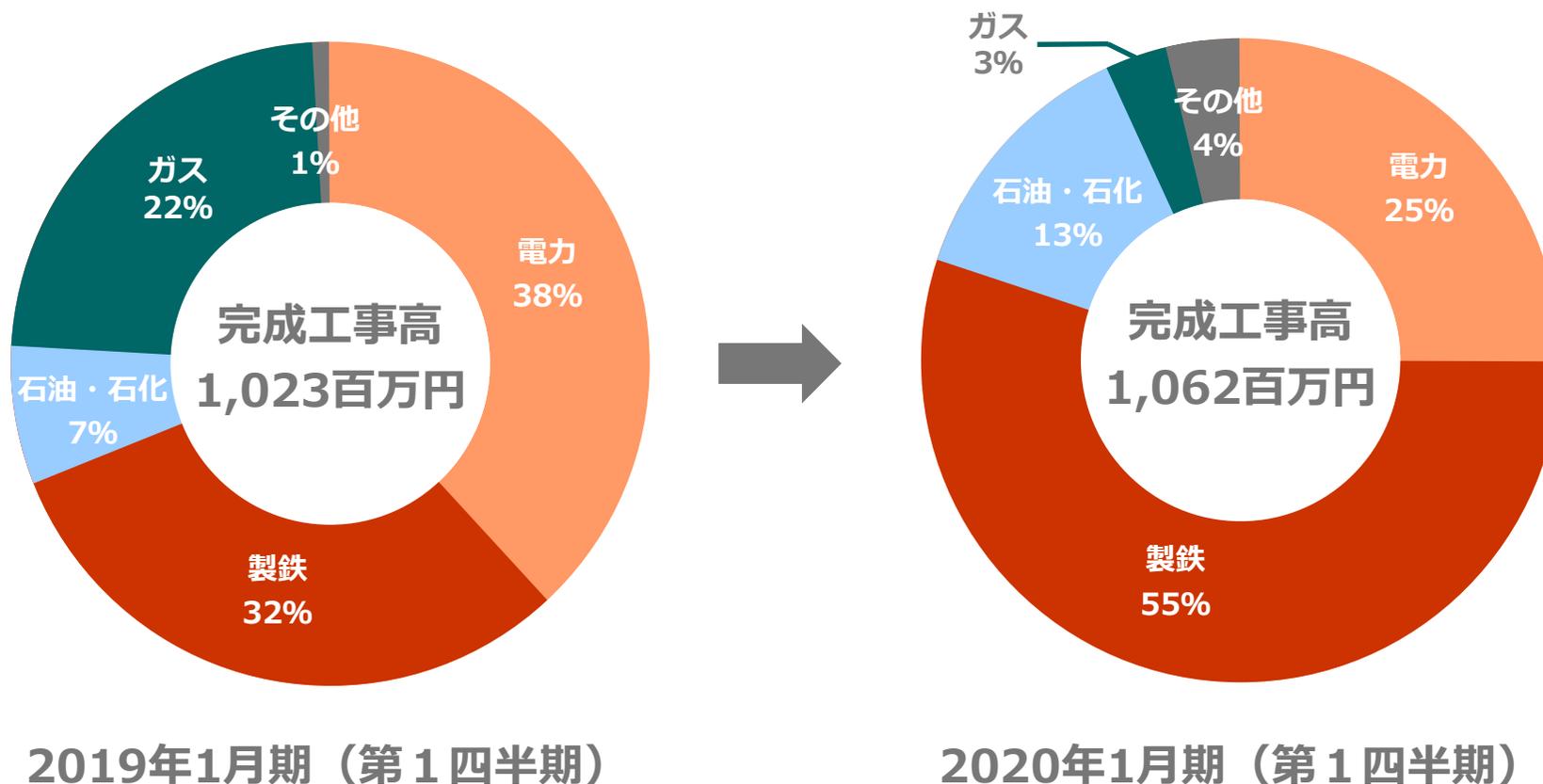
売上高は前年同期比5.9%の増収となりました。営業利益に関しても、効率的に工事が進み、前年同期比79.7%の大幅な増益となりました。

単位: 百万円

	2020年1月期 第1四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	<b>1,114</b>	—	1,052	61	<b>5.9%</b>
売上総利益	267	24.0%	197	70	35.8%
販売費及び 一般管理費	136	12.3%	124	12	10.0%
営業利益	<b>130</b>	11.8%	72	58	<b>79.7%</b>
経常利益	130	11.7%	74	56	76.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	86	7.7%	46	39	86.0%

# 業界別 完成工事高構成比率

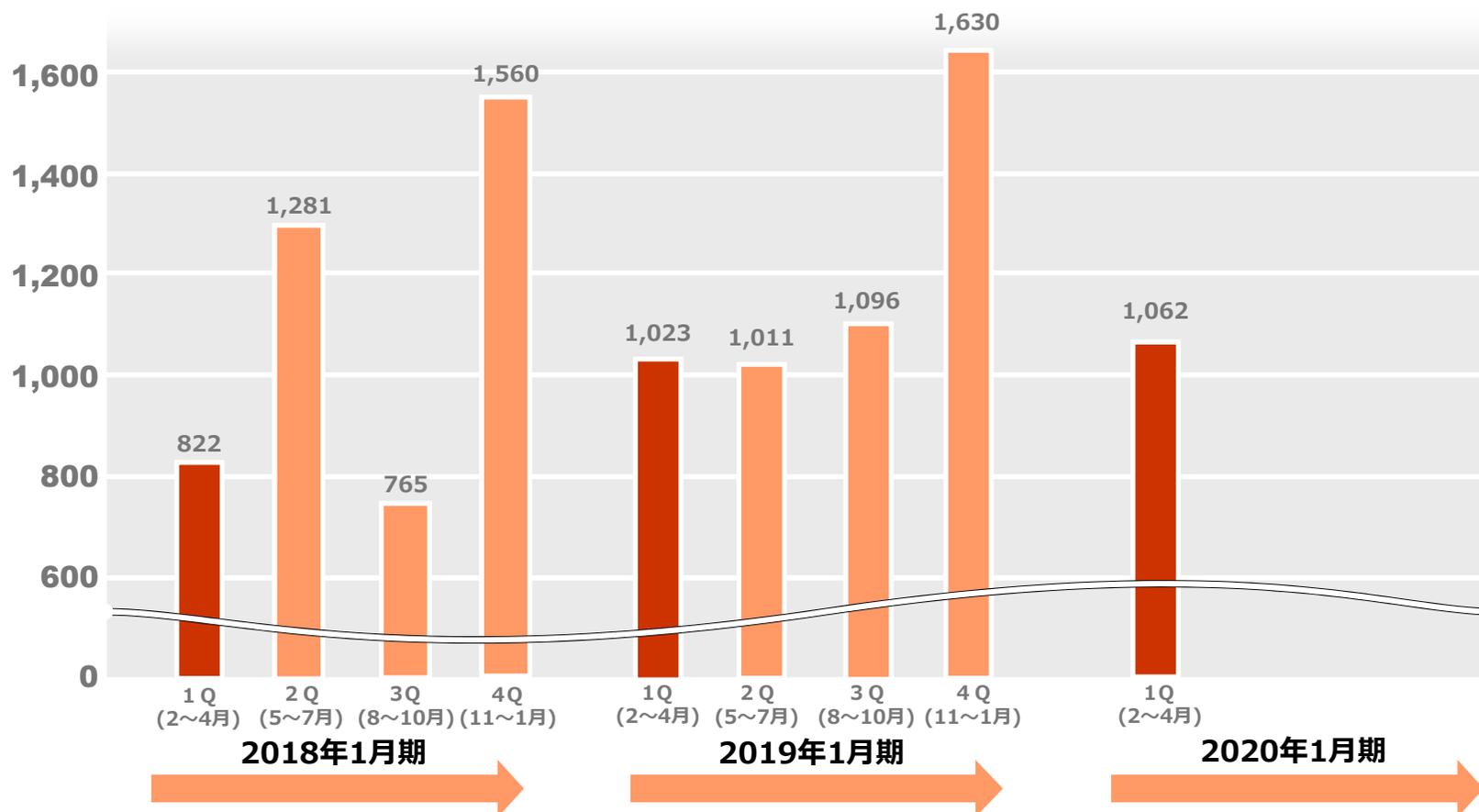
前年は大型の発電所の解体案件の影響で、電力の割合が高くなっておりました。2020年1月期第1四半期は、千葉および京浜事務所において製鉄所の工事を多く受注しており、製鉄の比率が高くなっております。



# 完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性があります。当社においては、第4四半期会計期間に計上される割合が高くなる傾向があります。

単位: 百万円



## 販売費及び一般管理費：第1四半期(2020年1月期)

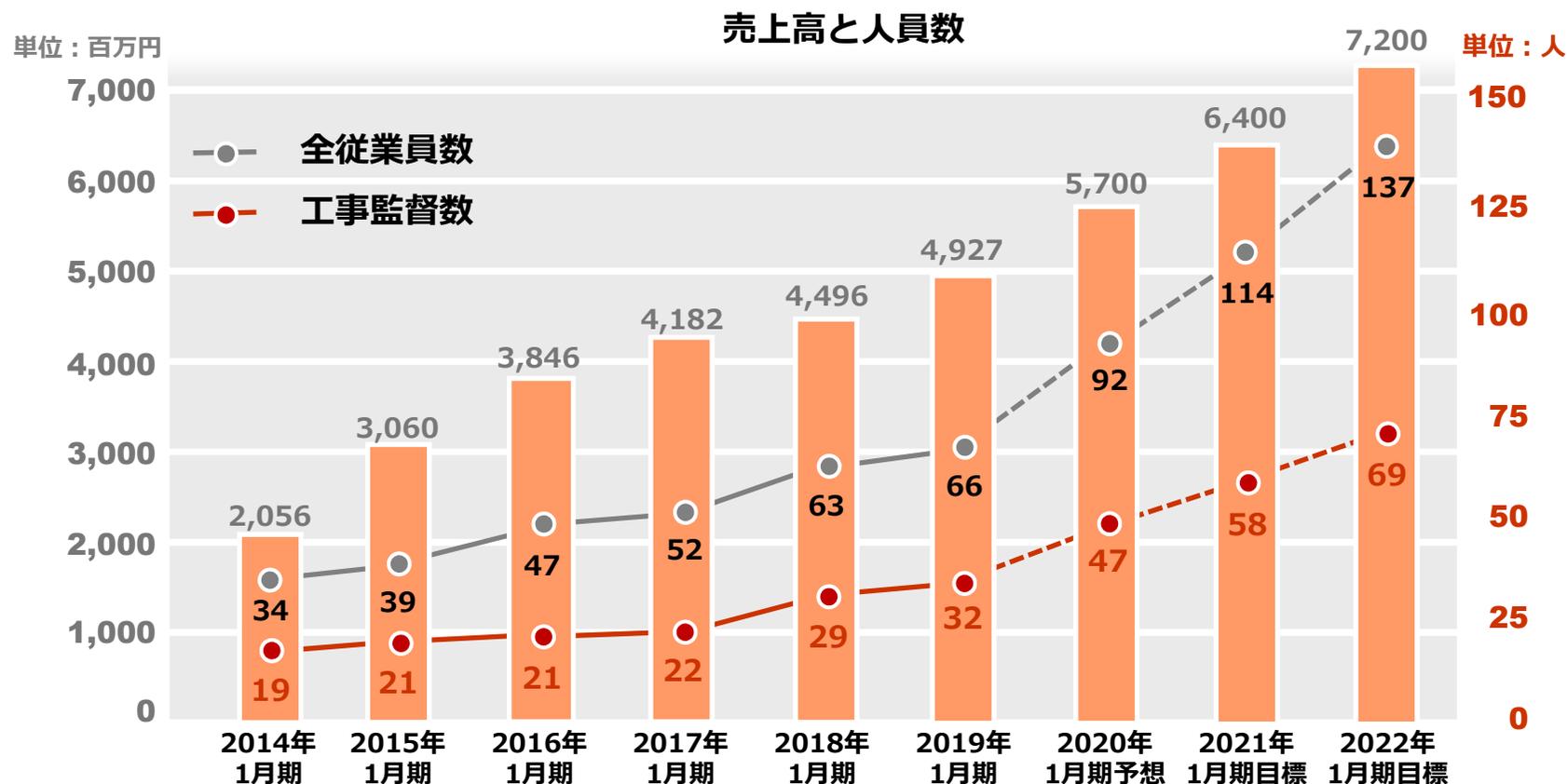
販管費は、本社ビルを賃貸に変更した費用が増加しております。第2四半期会計期間以降は、人材への投資を積極的に進めるための費用を見込んでおります。

単位：百万円

	2020年1月期 第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	61	57	4	7.2%	人員増
研究開発費	6	9	▲3	▲39.4%	ロボット開発
支払手数料 支払報酬	19	17	1	11.7%	基幹システム改良
採用費	2	3	0	▲23.9%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	2	5	▲3	▲60.5%	展示会減少
その他	45	30	14	46.1%	本社ビル賃貸費用
合計	136	124	12	10.0%	

# 人員計画の進捗

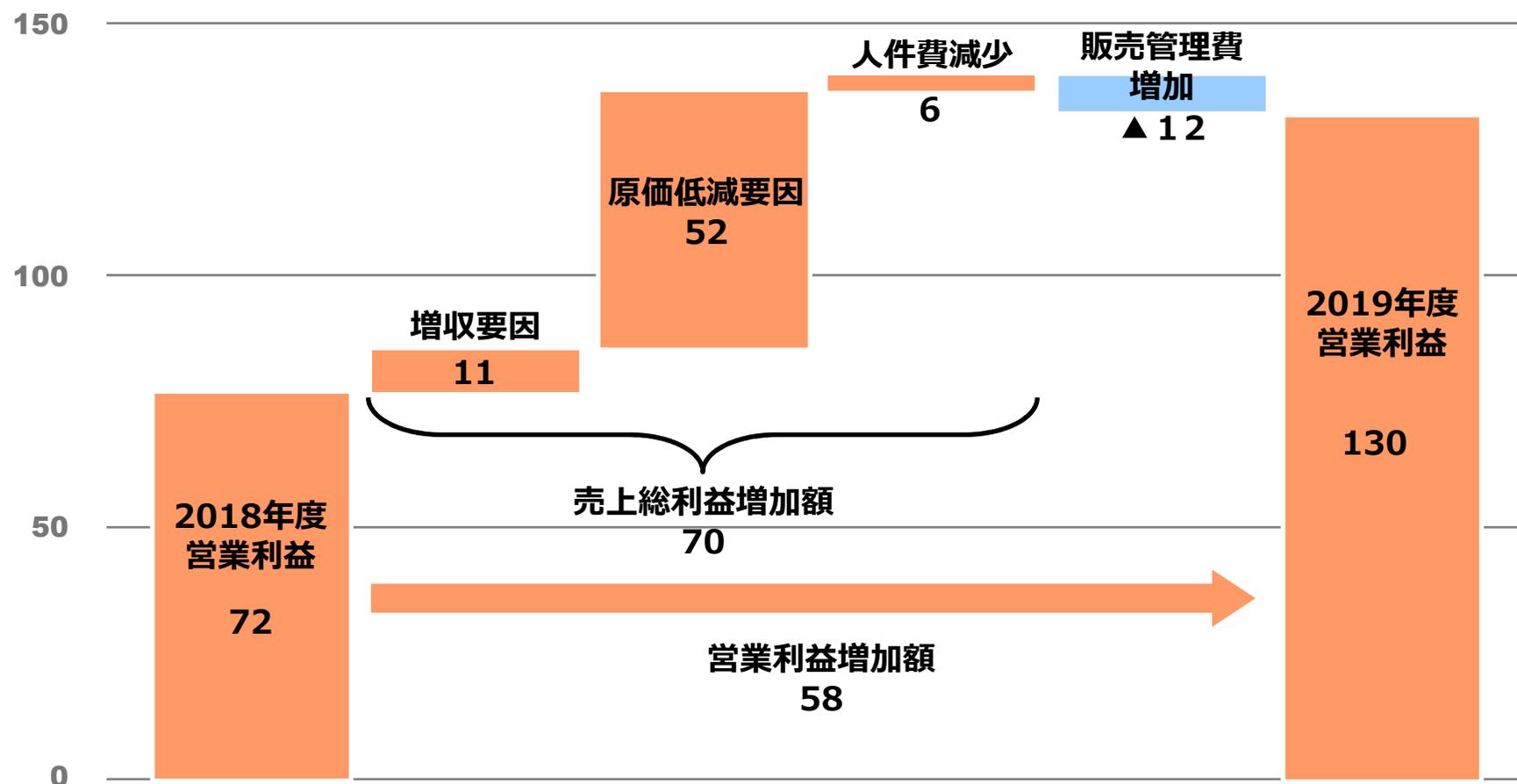
中期経営計画の人員計画に基づき下記の人員計画を作成しております。決算発表日現在(2019年6月7日)、**工事監督数は、期首から1名増の33名**となっております。



## 営業利益の増減要因分析(個別):第1四半期(2020年1月期)

効率的に工事が進んだため、売上総利益率が24.0%に向上しました(前年同期18.7%)。その結果、営業利益は前年同期比で58百万円(79.7%)増となりました。

単位: 百万円



# 貸借対照表：第1四半期(2020年1月期)

単位：百万円

	2020年1月期 第1四半期	前事業年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,919	4,059	▲1,139	工事の進行に伴う原価の支払等によるもの
(うち現金預金)	(760)	(2,032)	(▲1,271)	
固定資産	480	504	▲24	会計基準（税効果会計）の変更によるもの
流動負債	723	1,893	▲1,169	原価支払による短期の未払金減少によるもの
固定負債	57	56	0	退職給付引当金の増加によるもの
純資産	2,619	2,614	4	利益の積立によるもの
総資産	3,400	4,564	▲1,164	

## 受注状況：第1四半期(2020年1月期)

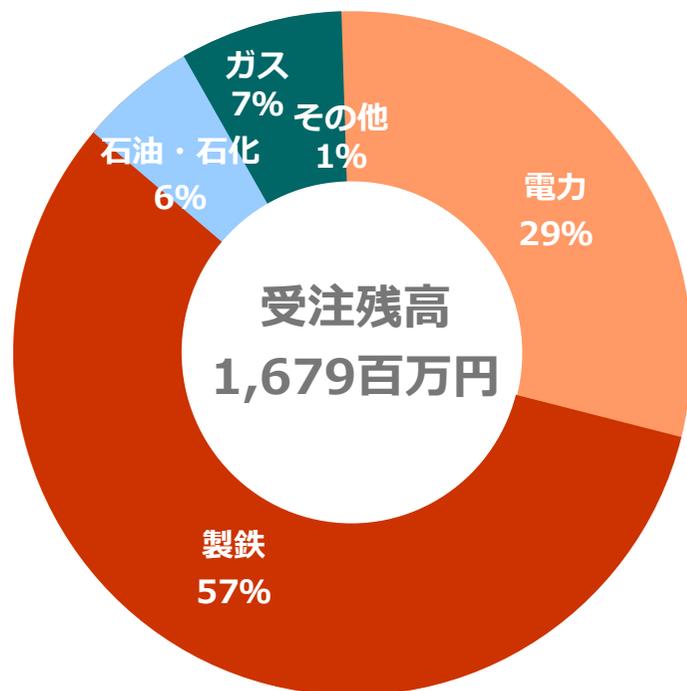
受注残高は、堅調な受注工事高(対前年561百万円、115.6%増)の増加に支えられ、期首と同等の残高を維持しております。

	2020年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	1,021	2,218	▲1,196	▲53.9%
受注工事高	1,046	485	561	115.6%
完成工事高	1,062	1,023	38	3.7%
期末繰越工事高 (受注残高)	1,006	1,679	▲673	▲40.1%

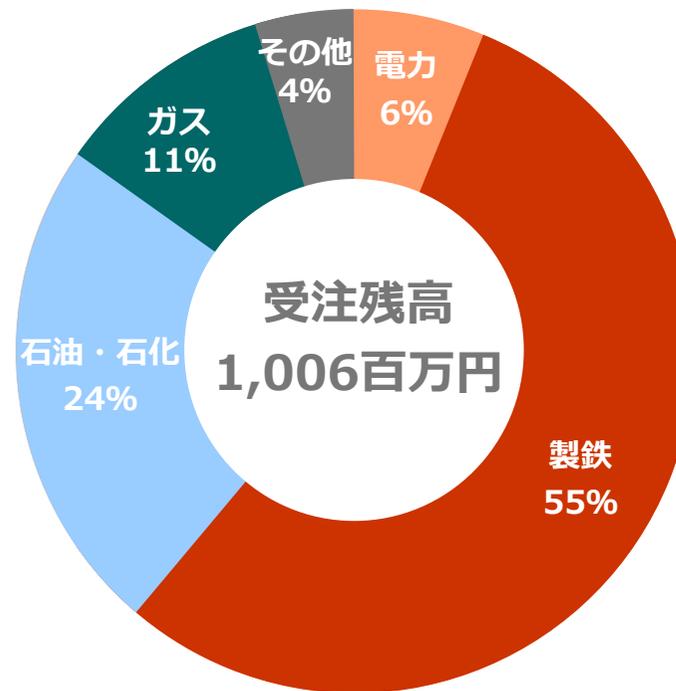
単位: 百万円

# 業界別 受注残高構成比率

前年は製鉄業界の周辺に位置づけられる大型プラントの受注を受け、製鉄の比率が高い状態で推移しております。京浜事務所の新設や西日本地区の営業力強化を進め、需要を積極的に取り込んでまいります。



2019年1月期（第1四半期）



2020年1月期（第1四半期）

## 業績予想 (2020年1月期)

2020年1月期の業績予想は、堅調な受注見込案件の状況を踏まえ、売上高15.7%増、営業利益5.5%増、配当16円(前年比+1円)の増配予想となっております。

単位: 百万円

	業績予想 2020年1月期	実績 2019年1月期	増加率
売上高	5,700	4,927	15.7%
営業利益	525	497	5.5%
経常利益	521	495	5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	367	621	▲41.0%
1株当たり 当期純利益	44円	75円	—
1株当たり配当金	16円	15円	—
配当性向	35.9%	19.9%	—

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

**ベステラ株式会社**



Copyright © BESTERRA CO., LTD All rights reserved.

